

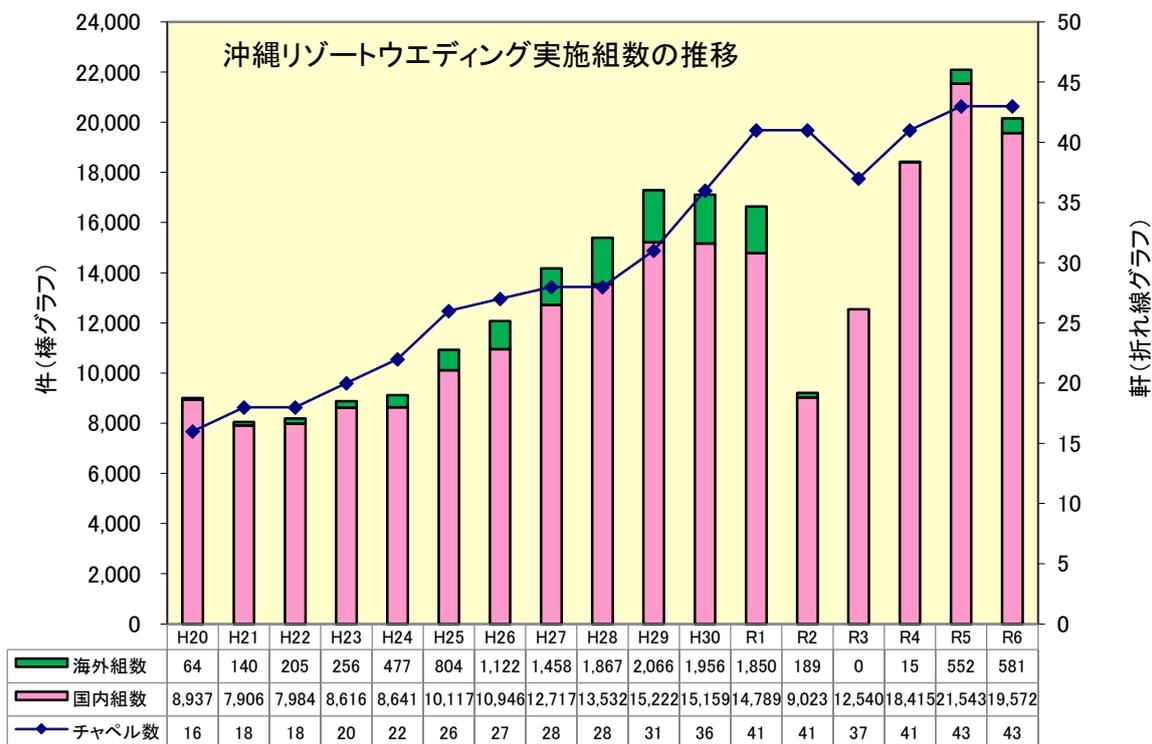
令和7年5月30日
 沖縄県観光振興課



令和6年【年間】 沖縄リゾートウエディング 20,153組

～令和6年【年間】結果～

令和6年(2024年)1月～12月「沖縄リゾートウエディング」の実施組数は **20,153組¹**となり、対前年比で91.2%(1,942組減)となった。このうち国内組数が対前年90.9%(1,971組減)の19,572組、海外組数は対前年比105.3%(29組増)の581組となり、国内組数は減少し、海外組数は昨年と同程度となった。チャペル数は昨年と同様の43軒となっている。



調査方法:沖縄リゾートウエディングを取り扱う県内企業77社および41市町村に調査を実施、このうち回答のあった52社、41市町村の結果に基づいて集計を行った。

¹ 実施組数のうち、国内か海外かそれぞれ把握できていないものについては、すべて国内として集計を行っている。

1. 沖縄リゾートウエディングの定義

「沖縄リゾートウエディング」とは、県外及び海外に在住する新郎新婦が、沖縄でウエディングを挙げることを目的に来県し行うウエディングのこと。本調査では、チャペルウエディングだけではなく、フォトウエディング²やホテル³・ビーチ⁴・レストラン⁵・琉装ウエディング⁶等も調査対象に含めている。

2. 傾向

- 令和6年は、新型コロナウイルスからの反動増(コロナ期の待機組による需要)が一服したことや、物価高騰の影響もあり、国内組数の反落がみられた。
- 海外組数もほぼ横ばいとなり、実施組数の伸び悩みがみられるが、挙式費用や滞在日数などは大幅に伸びており、円安効果の影響がみられる。
- 月別には10月、11月、4月、3月が多く、逆に1月、8月、5月といった観光オンシーズンには少ない傾向にあり、沖縄観光の平準化に寄与している。
- ウエディングスタイル別では、昨年と同様にフォトウエディングが大きな割合を占め、次いでチャペルウエディングの順となっている。
- 市町村別では恩納村、宮古島市、豊見城市、北谷町および名護市などで多く実施されており、近年では特に宮古島市が増加傾向にある。
- リーガルウエディングは対前年比で伸びており、読谷村や恩納村など8市町村に集中している。
- 事業者の令和7年に取り組みたい項目では「広告強化」、「国内受入」、「商品造成・開発」及び「インバウンド受入」などが多く、実施組数の増加に向けた取組を進めたいとしている。
- 他方で「人材育成」、「正規職員の雇用」および「インターンシップ受入」といった供給力の強化については比較的取組意向が少なく、沖縄リゾートウエディング(またはブライダル)事業から撤退した事業者も見受けられる中で、人手不足も含めた供給力の低下が懸念される。
- 平均参列者数は国内・海外ともに対前年比で増加しており、特に海外が大幅に増加している。
- 平均滞在日数は国内が伸び悩む中で海外が増加しており、新郎新婦は参列者よりも長く滞在している。
- リゾートウエディングに係る平均費用は、国内の挙式費用がやや落ち込んだものの、国内のフォト費用および海外の挙式・フォト費用は増加傾向にある。
- リゾートウエディングによる推計来県者数は約26.8万人で、令和6年入域観光客数の2.8%を占めている。
- また、リゾートウエディング費用(推計)は約83.6億円となり、これらが県経済に波及することで50.2億円の誘発効果が予想される(※133.8億円の総合効果となる)。

² フォトウエディング: 挙式は挙げないが、沖縄の海や城跡などのロケーションで写真を撮るウエディング。

³ ホテルウエディング: ホテルのバンケットルーム等で行われる挙式。

⁴ ビーチウエディング: 海を目の前にした絶好のロケーションで挙式。

⁵ レストランウエディング: 沖縄の食材を使った料理を味わいながらカジュアルな雰囲気を楽しめる挙式。

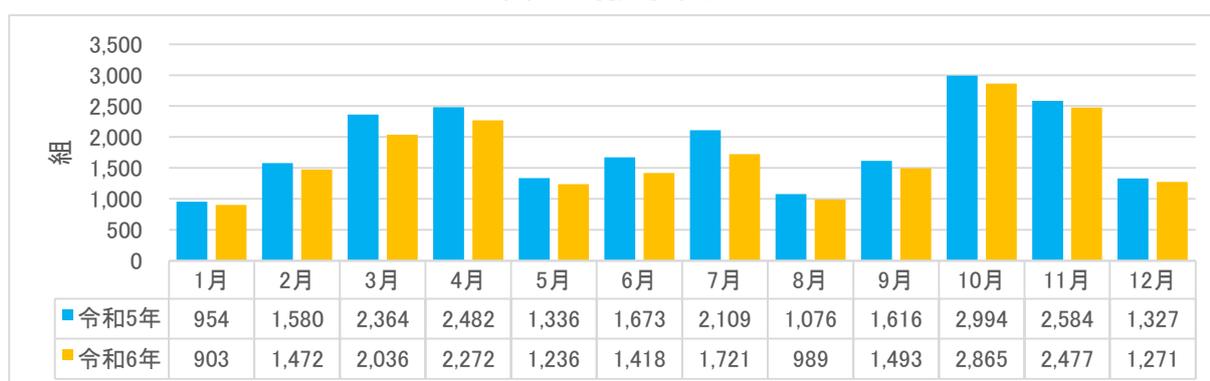
⁶ 琉装ウエディング: 琉球王朝時代の正装をまとった挙式。

令和6年 沖縄リゾートウエディングの概況

1. 月別挙式状況

- 令和6年は10月(2,865組)が最も多く、次いで11月(2,477組)、4月(2,272組)、3月(2,036組)の順となっている。
- 他方で観光オンシーズンとなる1月(903組)、8月(989組)、5月(1,236組)は、実施組数の少ない時期となった。
- 対前年同月比では、いずれの月も減少となっており、特に6～7月の減少が目立っている。

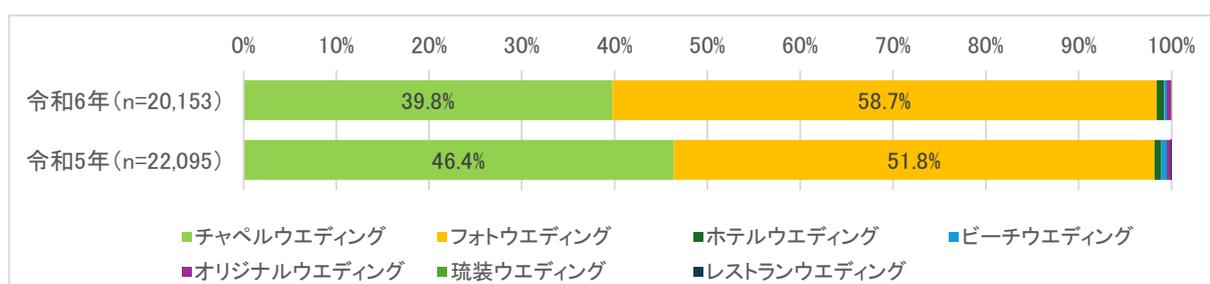
図 月別実施組数



2. ウエディングスタイルの状況

- フォトウエディングが11,822組で最も多く、全体の58.7%を占めている。
- 次に人気が高いのがチャペルウエディングの8,014組(全体の39.8%)で、フォトウエディングを合わせると全体の98.4%を占めている。
- その他、ホテルウエディング(161組)、オリジナルウエディング(100組)、ビーチウエディング(54組)などの挙式も実施されている。
- レストランウエディングは皆減となり、また、琉装ウエディングは2組と伸び悩んでいる。
- オリジナルウエディングでは、ガーデンウエディングや水中ウエディングなどがあり、沖縄県の自然を活用したスタイルが多くみられる。

図 ウエディングスタイル別の割合



3. 市町村別挙式組数の状況

- 市町村別では恩納村が 3,483 組と最も多く、次いで宮古島市(3,375 組)、豊見城市(2,678 組)、北谷町(1,849 組)の順となり、この4市町で過半数(56.5%)を超えている。
- なお、上位市町村の特徴として、恩納村ではチャペルウエディングの実施組数が 2,468 組と高い水準になっているが、その他 3 市町村ではフォトウエディングの組数が多く、それぞれ宮古島市(2,476 組)、豊見城市(2,678 組)、北谷町(1,397 組)となっている。
- その他、名護市(1,720 組)、石垣市(1,668 組)、糸満市(1,088 組)、読谷村(1,002 組)で年間 1,000 組以上実施している。
- 宮古島市は新型コロナ・パンデミック以降、ホテル数の増加など受入環境の整備が進んでいることから、実施組数が急速に伸びている。
- 圏域別・ウエディングスタイル別では、チャペルウエディングは北部地域(58.9%)が過半数を占めている。
- フォトウエディングは離島地域(33.4%)が最も高く、次いで南部地域(26.6%)、中部地域(20.2%)の順となっており、各地域に分散している。
- 北部地域はホテルウエディング(83.9%)やその他、オリジナルウエディング(69.0%)などの割合も高く、中部地域ではビーチウエディング(64.8%)の割合が高い。
- 琉装ウエディングは南部地域のみで、実施組数も伸び悩んでいる。

図 市町村別の実施組数

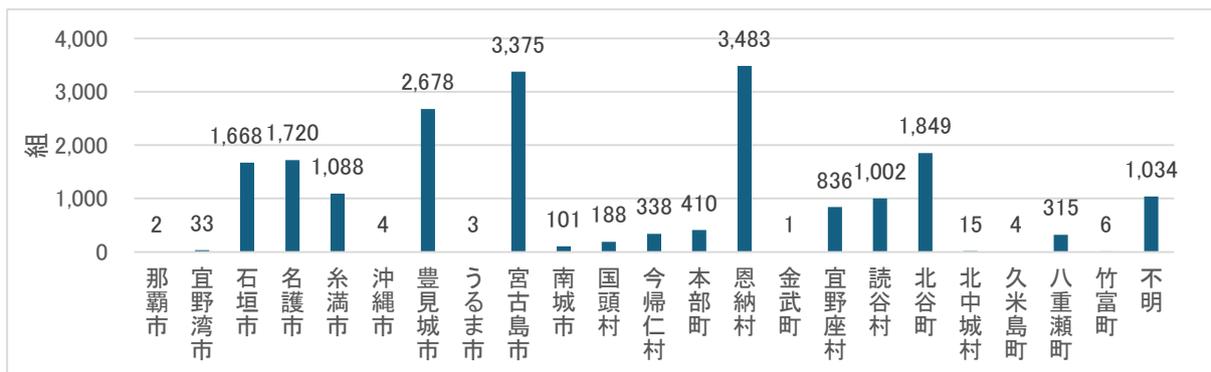
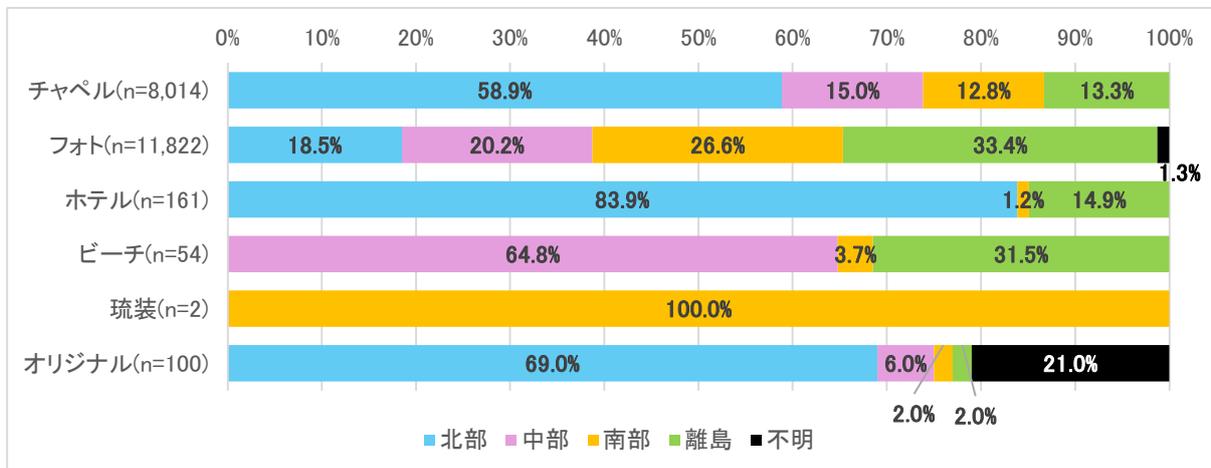


図 圏域別・ウエディングスタイル別の割合



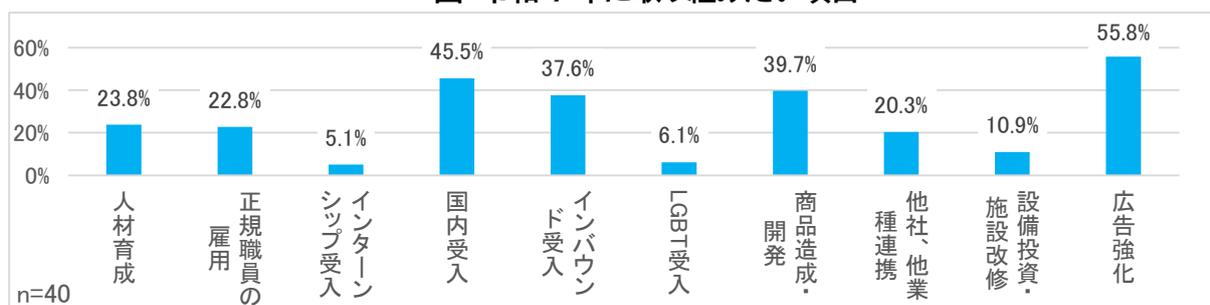
4. リーガルウェディング⁷の実施組数

- 海外組数 581 組のうち、リーガルウェディング実施は 94 組(16.2%)となった。
- 実施された市町村は 8 市町村で、リゾートウェディング実施組数の多い読谷村(35 組)や恩納村(29 組)に集中している。
- 次いで那覇市(12 組)、今帰仁村(6 組)の順となっている。
- 国別では香港(92 組)がほとんどとなっている。

5. 令和7年に取り組みたい項目

- 「広告強化」の 55.8%が最も多く、次いで「国内の販路及び受入拡大(45.5%)」、「商品造成・開発(39.7%)」の順となっている。
- 「人材育成(23.8%)」や「正規職員の雇用(22.8%)」及び「他社、他業種連携(20.3%)」等、2 割程度となっている。
- 他方で、「インターンシップ受入(5.1%)」や「LGBT 受入(6.1%)」及び「設備投資・施設改修(10.9%)」への取組については、比較的回答割合が低い。

図 令和7年に取り組みたい項目



6. 平均参列者数及び平均滞在日数

- 平均参列者数は国内が 26.7 人、海外が 37.5 人となり、国内・海外ともに前年比で増加している。
- 新郎新婦の平均滞在日数は国内で 3.4 日、海外で 15.4 日となっている。
- 参列者は国内が 2.5 日、海外が 4.2 日と、いずれも新郎新婦が長く滞在している。

表 平均参列者数及び平均滞在日数

			令和6年	令和5年
国内	平均参列者		26.7人	20.6人
	平均滞在日数	新郎新婦	3.4日	3.6日
		参列者	2.5日	2.6日
海外	平均参列者		37.5人	19.1人
	平均滞在日数	新郎新婦	15.4日	4.5日
		参列者	4.2日	3.6日

⁷ リーガルウェディングとは、海外で現地の法律に基づいて挙式をすることであり、国によって条件・形式が異なる。日本では、戸籍法に基づき婚姻届を市町村役場に届け出ることを指す。

7. 平均費用

- 国内のリゾートウエディングに掛かる費用は、挙式費用が約65.4万円、フォト費用が約25.3万円となっており、前年比で挙式費用が減少した一方で、フォト費用が増加している。
- フォト費用はコロナ以降、実施組数に連動して増加基調にある。
- 海外では、挙式費用が約50.7万円、フォト費用は約21.8万円と前年比で大幅に増加しており、円安効果がみられる。

表 平均ウエディング費用

(単位:円)

		令和6年	令和5年
国内	挙式費用	653,818	680,000
	フォト費用	252,826	165,000
海外	挙式費用	506,973	357,000
	フォト費用	218,267	165,000

8. 推計来県者数

- **約26.8万人**がリゾートウエディングのために来県していると推計される。
- 令和6年沖縄県への入域観光客数は966万8,800人(うち国内客753万6,000人、海外客213万2,800人)⁸であり、観光客数全体の2.8%がリゾートウエディング目的で来県していると予想される。
- なお、令和5年の推計来県者数は約26万3千人で、前年比の102.2%(5,656人増)となった。

《算出方法》 ※四捨五入の関係で、国内・海外の合計値が一致しない場合がある。

◎国内

①実施組数 19,572組(うち挙式7,819組、フォト11,753組)

②平均参列者数 26.7名(フォト撮影の場合は、参列者は0名と仮定)

(7,819組×28.7名【新郎新婦2名+平均参列者26.7名】+11,753組×2名(新郎新婦2名))
 ≒248,112名

◎海外

①実施組数 581組(うちチャペル512組、フォト69組)

②平均参列者数 37.5名

(512組×39.5名【新郎新婦2名+平均参列者37.5名】+69組×2名)
 ≒20,362名

国内 248,112名 + 海外 20,362名 = 268,474名

⁸ 沖縄県文化観光スポーツ部 観光政策課、令和7年3月25日

9. 推計経済効果

(1)直接効果

- リゾートウエディングの実施に伴う推計経済効果(直接効果)は、国内約 80.8 億円、海外約 2.7 億円となり、合計約 **83.6 億円**が見込まれる。
- <参考>令和 5 年の観光客 1 人当たり県内消費額を引用して新郎新婦ならびに参列者のアフターウエディング需要を推計した場合、291.3 億円となる(※挙式とアフターウエディングの合計で 374.9 億円)。

1. 算出方法 ※四捨五入の関係で、国内・海外の合計値が一致しない場合がある。

(1)国内

- ①挙式組数 7,819 組×平均費用 653,818 円÷51.1 億円
- ②フォト組数 11,753 組×平均費用 252,826 円÷29.7 億円
(国内計 ①51.1 億円+②29.7 億円÷80.8 億円)

(2)海外

- ③挙式組数 512 組×平均費用 506,973 円÷2.6 億円
- ④フォト組数 69 組×平均費用 218,267 円÷0.2 億円
(海外計 ③2.6 億円+④0.2 億円÷2.7 億円)

(3)合計 国内 80.8 億円 + 海外 2.7 億円 = 83.6 億円

2. 参考:アフターウエディングの直接効果

※アフターウエディングは、挙式に前後して行われる新郎新婦や参列者の県内観光を指すが、令和 6 年観光客 1 人当たり県内消費額のデータは未公表である。そこで、令和 5 年の県内消費額を引用して、アフターウエディングの消費額を推計する。

※参考:国内の観光客 1 人当たり県内消費額は「観光統計実態調査・観光客満足度調査」より、海外は「外国人観光客調査」より引用している。

(1)国内

- ①挙式・新郎新婦 7,819 組× 2 名×観光消費額 144,182 円÷22.5 億円
- ②挙式・参列者 7,819 組×26.7 名×観光消費額 101,530 円÷212.2 億円
- ③フォト・新郎新婦 11,753 組× 2 名×観光消費額 144,182 円÷33.9 億円
(国内計 ①22.5 億円+②212.2 億円+③33.9 億円÷268.6 億円)

(2)海外

- ④挙式・新郎新婦 512 組× 2 名×観光消費額 111,605 円÷ 1.1 億円
- ⑤挙式・参列者 512 組×37.5 名×観光消費額 111,605 円÷21.4 億円
- ⑥フォト・新郎新婦 69 組× 2 名×観光消費額 111,605 円÷ 0.2 億円
(海外計 ①1.1 億円+②21.4 億円+③0.2 億円=22.7 億円)

(3)合計 国内 268.6 億円 + 海外 22.7 億円 = 291.3 億円

(リゾートウエディング 83.6 億円 + アフターウエディング 291.3 億円 = 374.9 億円)

(2)経済誘発効果

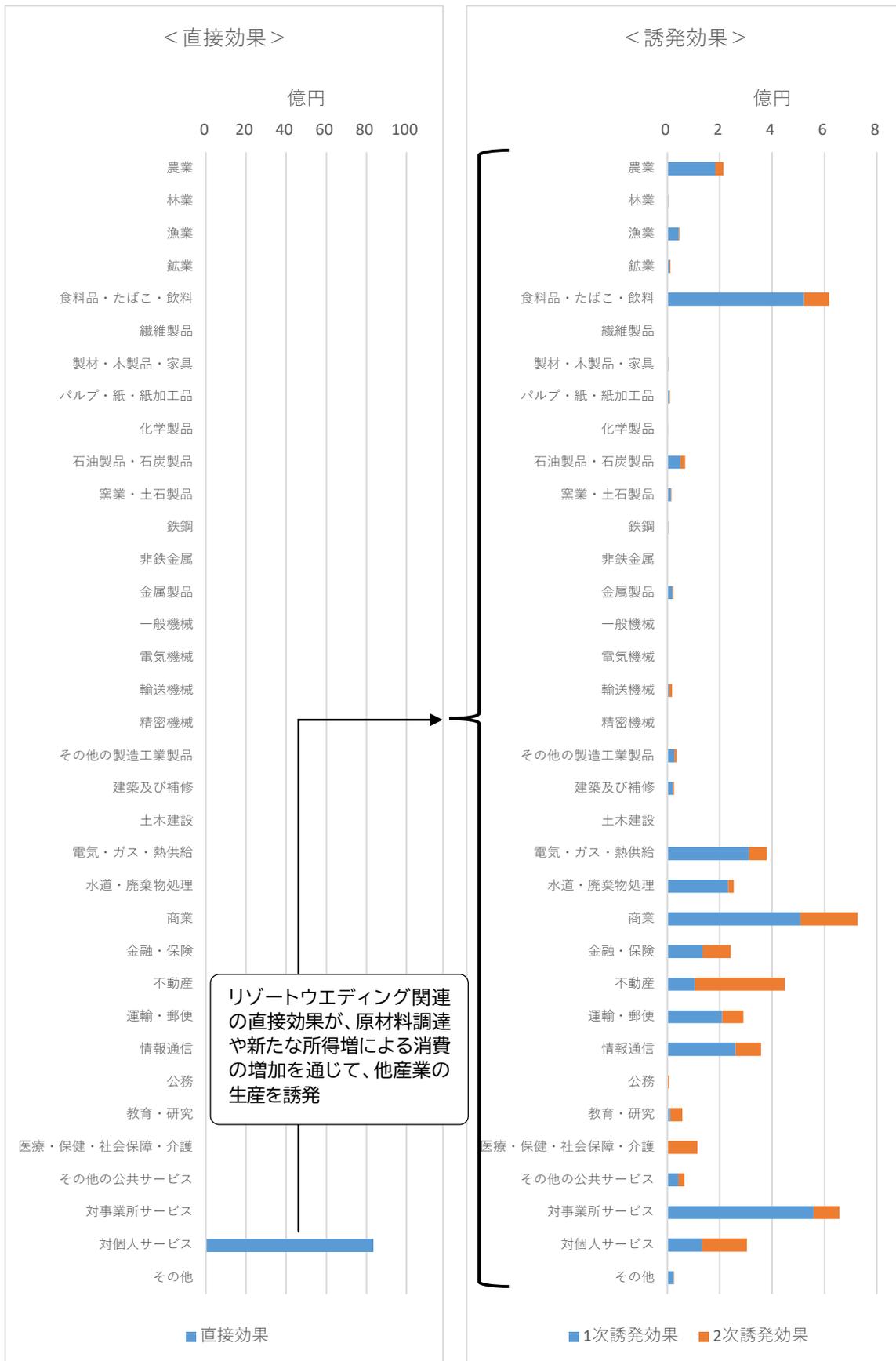
- 挙式によってもたらされる費用 83.6 億円を対個人サービス(写真業や冠婚葬祭業)への直接効果として、沖縄県産業連関表(平成 27 年 35 部門表)を用いて経済誘発効果を試算した。
- その結果、50.2 億円の生産誘発効果が予想される。
- 生産誘発効果うち、県内総生産に相当する粗付加価値誘発効果は 28.5 億円、雇用者所得誘発効果は 12.5 億円となる。
- 誘発効果は、電気・ガス・水道・熱供給業や運輸、商業(卸売・小売業)など第 3 次産業を中心に、ブライダル関連産業以外の他産業にも影響を及ぼしている。
- 他方で、製造業関連への影響(誘発効果)は比較的弱い。
- 直接効果と誘発効果を合わせた総合効果は 133.8 億円で、誘発倍率は 1.60 倍となる。
- (参考)平成 29 年度の観光全体の誘発倍率は 1.50 倍⁹となっており、観光コンテンツの中でも県経済に与える影響は強いとみられる。

表 沖縄リゾートウエディングの経済誘発効果

	生産	粗付加価値	雇用者所得
需要想定	83.6 億円		
直接効果	83.6 億円	41.2 億円	20.8 億円
うち一次誘発効果	34.4 億円	18.6 億円	8.4 億円
うち二次誘発効果	15.8 億円	9.8 億円	4.0 億円
誘発効果合計	50.2 億円	28.5 億円	12.5 億円
総合効果	133.8 億円	69.6 億円	33.3 億円
誘発倍率	1.60 倍		

⁹沖縄県文化観光スポーツ部 観光政策課、平成 30 年 9 月 25 日

図 産業別直接効果と生産誘発効果



➤ **令和6年度 沖縄県の取組**

(1)ブランディング

- ①ブランドイメージ(静止画)の制作及び発信
- ②キービジュアルの制作及び発信

(2)国内プロモーション

- ①国内主要都市2箇所にて沖縄リゾートウエディングフェアを開催
- ②東京都代々木公園「OKINAWA まつり 2024」において沖縄リゾートウエディングブースの出展

(3)海外プロモーション

- ①香港ウエディングフェアに出展
- ②台湾で沖縄リゾートウエディングフェアを開催

(4)情報発信

- ①県内事業者のコンテンツ情報発信
- ②モニターカップルインタビュー記事の掲載
- ③国内・海外フェアのランディングページの制作

(5)受入体制整備・県内周知等

- ①県・市町村・観光協会・県内関係企業による「カップルアニバーサリーツーリズム連絡会」を本島で開催
- ②事業者向けセミナー(ヘアメイクセミナー、情報発信マーケティングセミナー)を本島、石垣島、宮古島で実施

➤ **お問い合わせ先**

統計調査に関するお問い合わせ	一般財団法人 南西地域産業活性化センター 調査第2部 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-15-9 アルテビルディング那覇2階 Tel: 098-861-2180 Fax: 098-869-0661
事業実施主体	沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課 誘致企画班 〒900-8570 沖縄県泉崎1-2-2 8階 Tel: 098-866-2764 Fax: 098-866-2765
沖縄リゾートウエディング全般に関するお問い合わせ	一般社団法人 沖縄リゾートウエディング協会 事務局:株式会社 琉球カヤックスタジオ 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志2-17-27 E-mail info[@]tabi-wedding.com WEB ttp://www.tabi-wedding.com